2026 SUMMER！

茨城県立太田第一高等学校野球部 21

○7/15　太田一高 対 霞ケ浦高　ノーブルホーム水戸　第２試合　⑥

霞ケ浦 守り切る

霞ケ浦３－０太田一

【評】霞ケ浦が3点のリードを守り切った。二回に加藤と渡辺の中前適時打で2点を先制。七回には小磯の左前適時打で追加点を挙げた。投げては先発小林が五回途中まで無失点と好投し、試合をつくった。2番手の稲山は7奪三振無失点の快投で試合を締めた。

太田一は再三、得点圏に走者を進めたが、あと一本が出ず、粘投の柏を援護できなかった。

稲山が好救援 反撃の芽摘む

⑪…霞ケ浦の主戦・稲山幸汰（3年）が好救援し反撃の芽を摘んだ。エースとしての役割を果たせた」とはにかんだ。

五回1死二塁のピンチで登板した。「流れが相手にいきかけていた。自分が抑えるしかない」と全球、直球勝負。空振り三振と内野ゴロに抑えてピンチを切り抜けた。以降も直球を外角に集めながら、スライダーとフォークを織り交ぜ、スコアボードにゼロを並べた。

次はAシード下妻二と対戦。「厳しい戦いになると思うが、抑えて勝ちたい」と闘志を燃やした。

霞ケ浦・高橋祐二監督（66）　3年生のミスが多く、不甲斐なかった。稲山は本当に信頼している。期待通りの投球だった。他の投手陣も奮起してほしい。







茨城新聞　7/16付　転載許可済

太田一・柏８回３失点

⑪…太田一の先発・柏一輝（２年）は強豪を相手に128球８回３失点の粘投を見せたが、チームは無得点に終わり敗退。試合後は悔し涙を流し「自分をエースとして認め、任せてくれた」と、引退する３年生への感謝の思いを口にした。

横手投げからのスライダーを中心に投球を組み立てた。二回に２失点した際は「先輩らが背中にいるから大丈夫」と気持ちを落ち着かせ、三回以降は長打を許さなかった。新チームでは「軸としてしっかり成長し強くなりたい」と決意を語った。

◇ノーブルホーム水戸＝第２試合
▽３回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
太田一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
霞ケ浦	0	2	0	0	0	0	1	0	X	3

▽三塁打　菊地▽暴投　柏、小林▽ボーク　小林▽試合時間　2時間13分▽審判　伊藤清、藤田満、大内直明、堀江

	太田一	打	安	点	振	球
⑧	荷見	4	1	0	1	0
⑤	大和田	4	1	0	0	0
⑥	四倉	4	1	0	0	0
②	竹林	4	0	0	1	0
⑦	松本	4	1	0	0	0
③	酒井	4	0	0	3	0
④	砂川翔	4	2	0	0	0
	砂川雄	3	0	0	1	0
DH	佐藤	1	0	0	1	0
⑨	卜部	2	1	0	1	0
犠盗失併残						
1	0	1	2	8	3	4

	霞ケ浦	打	安	点	振	球
⑤	村上	5	1	0	0	0
D	口山	5	1	0	0	1
⑨	秋山	3	1	0	0	1
③	西野	4	2	0	0	0
⑦	菊地	3	1	1	0	0
H	小磯	3	1	1	0	0
7	石沢	1	0	0	0	1
②	佐藤	3	1	1	0	1
⑥	加藤	3	1	1	0	0
④	渡辺	4	2	1	0	0
⑧	相田	3	1	0	0	1
犠盗失併残						
0	2	0	0	1	1	3	4

	投手	回数	打	安	振	球	失
	柏	8	38	12	0	4	3
	小林	4⅓	18	4	2	0	0
	稲山	4⅔	17	3	7	0	0

太田一・竹林佑太捕手（２年）
持ち前の打たせて取る試合ができたが、チャンスをものにできなくて悔しい。投手の頑張りに応えたかった。

青龍團、吹奏楽部、生徒会、応援サポーター、全校生徒の皆さん、そして父母の会はじめ、ご支援いただいたすべての皆様、

熱い応援を本当にありがとうございました！

2026 SUMMER！

茨城県立太田第一高等学校野球部 22

３年生！最後の最後まで諦めずよく頑張りました！
見事な戦いでした。そして見事な高校野球！でした。









SINCE 1900
OHTA
Ohta First Baseball Team

茨城

2026年の夏が終わりました。応援していただいた全ての方々に心から感謝し、苦楽を共にした仲間をずっと大切にし、そしてここまで高校野球をやり切ったことを人生の糧にして、次の目標に向かって力強く歩み出してください。

太田一高野球部の誇りを胸に！